



いっぺいといっぱく

市長のまちづくりにかける想いを市長の語り口でお伝えします。  
市HP「よぜがもん」もぜひご覧ください。

## Vol.75 感染しない、感染させない行動を!!

愛知県の緊急事態宣言が出された直後、私は、公立保育園と児童クラブを見に行きました。

保育の現場は、まさに「3つの密」(※1)です。部屋は限られた広さなので、十分な間隔をあげたくてもできません。子どもに「友達に近づかない」「大きな声でしゃべらない」と言い聞かせても難しいことは、どなたにも理解していただけたらと思います。そうした中で保育士や指導員は、子ども達を守ろうと必死に踏ん張ってくれています。

また、4月に入ってからですが、介護事業所から「訪問すると、新型コロナウイルスの予防策を知らない人がいる」という声が聞こえてきました。多くの方は、「これだけ報道されていて、そんな人はいないでしょう?」と驚かれるかもしれませんが、普段から新聞を読んだり、テレビを見たりする習慣のない方や、パソコンやスマートフォンなどから情報を得ることができない方の中には、現実にはそうした方がいらっしゃるのです。

もし、あなたの周りに情報を入手しにくい環境にある友人や地域の方をご存知でしたら、「今回の広報ながくて5月号を見た?」と電話していただくなど、正しい情報をお伝えいただけると助かります。子ども達に対しても、保護者のみなさんから、しっかりと説明していただくようお願いいたします。

長久手市では、愛知県による緊急事態宣言に伴い、4月15日から5月6日まで(※2)、保育施設、児童クラブ、学童保育所の保育について、医療、介護に関わる方、警察官、消防職員、自衛官など、安全な社会の維持に必要な職種、どうしても仕事を休むことが難しい世帯に限って保育を行っており、できる限り、家庭での保育をお願いしています。通園する子どもの数を極力減らすことが、感染防止にとっても有効だと考えています。保護者のみなさんには、ご苦勞をおかけしていますが、子ども達の命を守るための取り組みですので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

医療、介護、保育所、学童等の子ども関連施設で働いておられるみなさんは、自分が感染してしまう恐怖、知らずにうつしてしまう恐怖を抱えながら、感染防止に細心の注意を払い、緊張が続く厳しい日々を送っておられます。改めて心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の問題は、いつ終わるのか、正直、誰にも分かりません。私たち一人ひとりの感染防止のための行動が、自分や家族、地域の大切な命を守り、社会を守ることに繋がります。不便で、不安な日々が続きますが、引き続き、ご協力をお願いいたします。

(※1)①換気の悪い密閉空間

②多数が集まる密集場所

③間近で会話や発声をする密接場面

(※2)今後の状況により、延長する場合があります。



長久手市地域見守り安心ほっとライン

0561-63-5556

24時間  
365日受付

ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください